

公益財団法人 コスメロジー研究振興財団 第24回表彰・贈呈式を開催

株式会社コーセー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林一俊）が社会貢献事業のひとつとして支援を行っている公益財団法人コスメロジー研究振興財団※（所在地：東京都中央区、理事長：小林保清〔現コーセー取締役会長〕）は11月28日、「第24回表彰・贈呈式」を日本薬学会長井記念ホール（東京都渋谷区）にて開催しました。



コスメロジー研究振興財団は、コスメロジー（化粧品学）に関する調査研究に対する助成を行うことにより、広く国民の保健衛生の向上を図り、美しく豊かな人間生活の実現に寄与することを目的として、1990年に株式会社コーセーの創業者である小林孝三郎により設立されました。以来、例年研究課題を募集、関連分野の第一人者の選考委員による審査を行い、特に優れた課題を表彰、研究助成を行っています。

第24回目となる今年度は、全国の主要大学、病院、公的研究機関からの応募106件に対して厳正な審査を行い、特に優れた化粧品関連の研究課題31件の表彰を行いました。また今年度、他に国際交流助成1件、学術集会支援助成1件も行っています。

■第24回 コスメロジー研究振興財団 表彰・助成実績

○研究助成

応募総数		106件	
表彰件数			
1) 素材、物性に関する分野		9件	
2) 生体作用、安全性に関する分野		15件	
3) 精神、文化に関する分野		7件	計31件
助成金総額	2,800万円		(1件あたり100万円、または50万円)

○国際交流助成 1件

○学術集会支援助成 1件



小林保清理事長

表彰・贈呈式で小林保清理事長は、「当財団は、コーセーを創業した小林孝三郎が化粧品業界の永続的な発展に対する思いから平成2年に設立し、以来研究助成は今回が24回目となります。これまでの応募総数は約2,000件、助成件数は500件を超え、助成金総額は6億円に達しました。幸い、財団の財政は健全であり、今後も引き続き安定した活動を行ってまいりたいと存じます。

科学技術と社会が協調し、価値を創造する時代が来ていることは明らかであり、当助成事業が化粧品産業の発展と人間の美しさ、豊かさに貢献できればこれほど嬉しいことはありません。」と挨拶しました。



山崎幹夫氏

選考委員を代表して山崎幹夫氏(元新潟薬科大学学長)は、今回の選考経過について、「今までで4番目に多い106件の応募課題の中から、選考委員の先生方により、独創性や発展性、実用の可能性、コスメロジーへの波及性といった視点で採点のうえ、コスメロジーの将来発展に期待できるユニークな課題との視点から推薦いただき、9月26日の選考委員会で慎重な審議を行い候補者を選定しました。選考経過全体を通じて感じたことは、当財団の趣旨を理解いただき、研究の質的内容も年々レベルが高い課題が多くなっている点です。

受賞された先生方の研究が立派な成果を得られることを期待します。」と述べました。

また、来賓として、厚生労働省医薬食品局審査管理課 課長補佐 井上隆弘氏、同分析官 光岡俊成氏をお招きし、光岡氏には祝辞を頂戴しました。



特別講演 慶應義塾大 天谷教授

表彰・贈呈式後に行われた特別講演では、慶應義塾大学医学部皮膚科教授の天谷雅行氏に「角層を科学する」という演題でご講演をいただきました。天谷雅行氏は、「私自身も、数年前にこの賞をいただき、大変ありがたく研究に使わせていただきました。近年はアトピー性皮膚炎の患者が増加し、社会的な問題となるなか、そのメカニズムを探る研究を行っています。こうした中、皮膚表面からの抗原の侵入防御に、角層が重要な役割を果たしていることがわかってきました。」と、自身の研究成果を具体的にわかりやすく紹介、化粧品がその予防に役立つ可能性を示しました。

した。

特別講演の後には懇親会も、同会場にて和やかな雰囲気の中で行われました。

なお次回、第25回研究助成の募集開始は、2014年5月を予定しており、同財団のウェブサイトでご告知します。

※公益財団法人コスメロジー研究振興財団 URL: <http://www.cosmetology.or.jp/>

表彰研究課題の詳細等についても、こちらをご参照ください。

<http://www.cosmetology.or.jp/josei.htm#No24>